

④スポーツの振興

◆現状と課題

社会情勢や生活習慣の変化とともに、主体的に余暇時間を活用し精神的に豊かなライフスタイルを構築したいという要望が年々強まっています。一方、科学技術の高度化・情報化等の進展により、人間関係が希薄となり、精神的なストレスが増大したり、日常生活で体を動かす機会が減少し、体力や運動能力が低下したりするなど、心身両面にわたる健康上の問題が顕在化してきています。

このような生活形態の変化の中、少子化等による人口減少及び老年割合の増加が、今後も確実に見込まれることが現実の問題となっています。能代市でも、学校単位での運動部活動に支障がみられたり、あるいは高齢者の健康づくりへの多様な取り組みや医療・介護費用の負担増の問題など、多方面から現状への対応が迫られています。

今後のスポーツのあり方は、こうした生活環境、少子高齢化社会に対して、「競技志向」「楽しみ志向」「健康・体力づくり志向」など、多様化・高度化したスポーツニーズを捉え、地域住民の健康増進と世代間交流を含め、あらゆる年齢層と障害の有無に関わらず、効率的・効果的で特性に応じた取り組みやすいスポーツ事業の展開と交流の場の提供及び施設の健全な運営に努める必要があります。

重点目標	施策の方向性
1. ニーズや能力に応じた活動の場の確保や多彩なプログラムを提供し、継続的なスポーツ活動の整備を図る。	スポーツイベントの企画・開催及びスポーツ教室・レクリエーション活動の展開に努める。
2. 各種競技団体、競技者を支援するとともに、能力や興味・関心、ライフスタイルに応じたスポーツ環境を提供し、事業への参画と協力体制の構築、日常的スポーツに対する地域活動の活性化を図る。	各種大会運営に係る助成に努める。
	優良競技者・団体の褒賞に努める。
	スポーツボランティアの育成・組織化に努める。
3. スポーツ振興方策の基本的方向について相互理解を深め、民間体育団体の一層の充実・強化を図る。	民間体育団体の組織力強化及び意識改革の支援に努める。
	競技団体との開催事業連携強化に努める。
4. 日常的スポーツ活動の支援を實踐できる資質の高い指導者及びスポーツ実践者の育成を図る。	体育指導委員活動の充実に努める。
	ニーズに対応し得る指導体制づくりと指導者の養成・組織化に努める。
5. スポーツ少年団の強化をとおして、地域に密着したスポーツクラブとしての充実を図る。	組織基盤の助成に努める。
	組織化への支援と指導体制の強化助成に努める。
6. 施策事業の実施でスポーツに慣れ親しむ機会を提供し、スポーツを通してのまちづくりに対する意識とともに日常的なスポーツ活動への興味の高揚を図る。	スポーツを通してのまちづくりイベントへの助成及び事業企画・開催誘致に努める。
7. スポーツ施設の適切・快適な環境を提供し「実践する」「観戦する」「支援する」スポーツの意識高揚を図る。	スポーツ施設の適正管理及び整備・充実に努める。